

研究課題 (テーマ)	チャレンジ the ものづくり		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	知能ロボット工学科	教授	岩井 学
			パステル工房企画管理運営委員会委員 パステル工房スタッフおよび兼任スタッフ
研究結果の概要			
<p>例年実施しているものから、さらに多くの学生にもものづくりを体験してもらえるよう、以下の点を見直したうえで実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報を例年より早い7月下旬ごろに開始した。</li> <li>・ 看護学部の学生の参加も促すため、全学生にチラシが行き渡るよう講義前や試験後に配布した。</li> </ul> <p>○実施結果</p> <p>製作物を①風鈴(真鍮製)、②写真立て(アクリル製)、③リングピロー(真鍮製)、④小物入れ(アクリル製)として、9月18日(水)～20日(金)、9月25日(水)～27日(金)の6日間で募集を行った。参加人数は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①風鈴コース：5名 (機械、知能、情報)</li> <li>②写真立てコース：3名 (機械、知能、生物)</li> <li>③リングピローコース：6名 (機械、知能)</li> <li>④小物入れコース：6名 (機械、知能、情報)</li> </ul> <p>合計のべ20名(実人数19名)の学生が参加した (H30年度：28名)。</p> <p>チャレンジ the ものづくりの参加者にアンケートを実施した結果、概ね満足した結果が得られた。特に、普段使用しない機械の勉強ができたこと、機械の使い方を改めて理解できたなどの例年と同様の感想のほか、指導が丁寧だった、来年も参加したいといった感想もあった。一方、やや時間がかかった、より実用性のある事をしてみたいといった声もあった。このことから、実施方法や広報には改善の余地があるものの、幅広い学生に技能習得の契機を十分に提供できたものと思われる。</p>			
今後の展開			
<p>今後も、ものづくり研修会・コンテストの実施により、ものづくりの基礎的技能の習得とその技能向上を図り、研究活動に活かすことができるように定着を促進する。</p>			